



図1.14 リンクドリードを用いたスカフールドイングのイメージ

(a)スカフールドイング不可能な場合。コンティグ1とコンティグ2の両末端に同一断片由来のリンクドリードが存在しなければ（マップできなければ）、片方のコンティグのみとの重なり具合に関係なくスカフールドイングを試みる対象とはならない。(b)スカフールドイング可能な場合。対象となる2つのコンティグの両端と同一断片由来リンクドリードの重なりが大きい（多数のリンクドリードがマップされる）ほど、高い信頼度をもってコンティグ間にNを配置して1つの大きなスカフールドにすることができる。